

会議録

会議の名称	令和2年 第6回東大阪市特別職の議員報酬等審議会
開催日時	令和2年 7月 9日(木) 10時00分から11時30分
開催場所	本庁舎11階 会議室
出席者	石津委員 大石委員 小林委員 高橋委員 田中委員 平本委員 村岡委員 事務局
欠席者	なし
案件名	・市議会議員の議員報酬額について
提出された資料等の名称	・議員報酬減額シミュレーション(中核市一覧 月額順・年額順) ・一般職職員の給与改定状況等(平成8年以降) ・答申書案(A案・B案)
決定事項	市議会議員の議員報酬額の減額率について
会議の公開、非公開	非公開
会議録の公表、非公表	公開(議事概要)
所管部署(事務局)	行政管理部 職員課

審 議 内 容

事務局より資料説明

以下項目について説明

- ・議員報酬減額シミュレーション(中核市一覧 月額順・年額順)
- ・一般職職員の給与改定状況等(平成8年以降)

村岡会長より資料説明

- ・答申書案(A案・B案)

委員からの意見

- ・今のコロナ禍の状況の中で5%減額は市民感情として受け入れられない。10%が適当であると思う。
- ・5%・10%で比較すると、10%が適当であると考ええる。
- ・答申書案は2つの減額率(5%・10%)を併記するもの(A案)より、10%のみの内容(B案)の方が良い。
- ・減額率は5%が良いと考える。
- ・コロナの影響といっても儲かっている会社もそうでない会社も両方ある。
- ・支払えるのであれば、一番高い議員報酬を払っても構わないのではないかと思う。
- ・審議会の開催は定期的に2年に1回は開催すべきだと思う。
- ・4年に一度の審議会開催となると現職の議員が対象にならない期間となる可能性がある。2年

に1回が望ましい。

- ・任期の4年ごとに1回開催が適当であると思う。
- ・2年ごとの審議会開催は、委員にも負担が大きすぎる。
- ・緊張感を持ってもらう意味でも、毎年審議会を開催すれば良いと考える。

まとめ

- ・市議会議員の議員報酬額については10%減額とする。

次回配布予定資料

- ・ 答申書案
- ・ 市長、副市長及び議員の期末手当、市長及び副市長の退職手当に関する資料

次回の開催日程等

第7回の審議会：開催日 7月27日（月）午後1時30分

場 所 22F会議室